

本当に暑い夏でしたが、皆さんはどんな夏だったでしょうか？ そろそろ秋の訪れを感じる季節になるでしょうか...

さて、9月は29(土)～30日(日)に、お楽しみ“合宿”があります！参加申込の〆切は9月3日でしたが、うっかりハガキを出し忘れていた人はいらっしゃいませんか？ まだ間に合うかもしれませんので、そんな方は大至急、連絡してください(連絡先は右側のページの一番下に記してあります)。

ところで、8月16日～19日に東京で「第13回日本フルート・コンヴェンション」が開催されました。上野にある東京芸術大学や上野学園のキャンパスを中心に、数箇所様々な演奏会や講義がありました。岡山からも大勢参加されたようです。

そして岡山フルートの会からは、安達さんの指揮で14名の方々による「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」の演奏が披露されました。旧東京音楽学校の奏楽堂に、爽快な音楽が流れていました。客席で聴いていて、とても心地よかったです。

コンクールのピッコロ部門では、会員であり岡山出身の柴田真梨子さんが、見事に第2位を受賞されました！今後のご活躍が楽しみです。

また、同じくコンクールのアンサンブル部門(中学生の部)で、岡山フルートの会の会員ではありませんが玉野市在住のお二人が、銀賞を獲得されました。ますますの活躍が期待されるようです。

コンヴェンションの報告

“フルート・コンヴェンションに参加しました”

海野理恵

今回、なんと12年ぶりにフルート・コンヴェンションに参加しました！前はまだ10代だったのか...とふと思ってしまいました。

東京に着いた8月16日は記録的な猛暑日で、暑～い上野公園を抜けて、東京芸大キャンパスへ到着しました。“各地のフルートオーケストラ”で演奏しましたが、「岡山フルートの会」の出演は17日でした。リハーサルを終え、演奏会場である旧奏楽堂へ移動するだけで汗だくに...。控え室にもエアコンがなく、あまり良いコンディションではありませんでしたが、本番はとても集中して、他パートの音をしっかり聴きながら演奏できたと思います。私自身は、本番が一番よかったかも...と思っています。

また、コンサートでは、岡山出身のフルーティストが多数出演され、素晴らしい演奏を披露されました。4日間、フルート音楽を楽しむことができ、とても勉強になりました。最後に、出演者の皆様、暑い中本当にお疲れ様でした。

「第10回岡山学生フルート・コンクール」のお知らせ

- ・日時:9月23日(日・祝) 12:30(予選開演) 17:30(本選開演)
- ・場所:岡山シンフォニーホール「イベントホール」
- ・入場料:無料

今年は38名の応募がありました。内訳は、小学生6名、中学生16名、高校生16名です。一人でも多くの会員に聞きに来ていただきたいと思います(予選、本選ともに、開演30分前から入場できます)。

演奏会実行委員会のご案内

「第29回岡山フルートの会演奏会」の第1回目の実行委員会を下記の日程で行います。実行委員を募集しますので、ご協力、よろしくお願いします。実行委員を希望される方は、下記に連絡してください。

- ・日時:9月11日(火) 19:00より
- ・場所:長谷川楽器店3階ホール

山本さん(演奏会実行委員長):090-1684-3149

第14回「岡山フルートの会 チャレンジコンサート」について

♪参加者募集

毎年恒例の「岡山フルートの会 チャレンジコンサート」が11月25日(日)に開催されます。参加者は下は小学生から上は50代、60代の社会人まで、曲目もアニメソング、J-POP、映画音楽、クラシックとバラエティに富んでおります。肩の凝らない、ほのぼのとしたコンサートですので、参加してみませんか?

今月の会報に実施要項と申込用紙を同封しておりますので、詳しくはそちらをご覧ください。初めての方も大歓迎ですよ。

芸術の秋、あなたもアーティストになってみませんか?

♪実行委員募集

チャレンジコンサートの実行委員を募集中です。楽しいコンサートと一緒に作っていきませんか!? 初めての方でも大歓迎です。ご連絡をお待ちしております。

吉田さん(チャレンジコンサート実行委員長):090-3619-8674

演奏会情報

♪Flute Ensemble “Rosa”音楽桃源郷～シリーズ 想[sou]～

- ・日時:2007年10月14日(日) 14時開演
- ・会場:岡山テルサホール

会員の堺由美さん、小池かほるさん、宮尾紀子さん、野崎愛さんによる演奏会です(同封のチラシをご参照ください)。岡山フルートの会の会員の方には、チケットを500円割引いたします。長谷川楽器店か、Rosaのメンバーから直接お求めください。

合宿のお申し込み(大至急!) 河村さん(合宿実行委員長):090-6436-2766

先日、岡山シンフォニーホールで田原総一郎氏(評論家・ジャーナリスト)の講演を聞いた。演題は「時代を読む」。1934年生まれ、私と同年齢の田原氏が、氣力を充実させて日本及び世界の情勢に鋭く切り込み解説する。その話は実に興味深く考えさせられる事も多かったが、今日話題にするのは話の内容ではなく、ホールの音響の事なのです。

先ず最初に私が座ったのは、音楽会では私の一番好きな二階正面。しかしこの場所は残響がありすぎて、せっかくの田原氏の細かいニュアンスが聞き取れない。一言一句も聞き漏らしたくない私は、周囲に気遣いながらも聞きやすい場所を捜し求める。先ず二階ロビーに出る。ロビーでテレビモニターを見た方がはるかに聞き易い。しかし臨場感が無いので面白くない。次に三階に上ってみる。しかしこも残響がありすぎて小さい声のところや早口のところ聞きづらい。しからばと一階に降りて探すことになる。最も残響が少なく音響の悪いところは何処か。そして見つけました。一階の後ろ、頭上に二階の座席をかぶっているところ。ここが講演会では最も聞き易いところだ。演奏会に最適な場所は講演会では不適。逆に講演会で細部までよく聞き取れる場所は、演奏会では音響の良くない場所と言うことになる。故に、多目的ホールは、何でもこなす事は出来ても決して全てに適合はしない。オペラハウス、シンフォニーホール、室内楽コンサートホール、演劇場、和楽ホール、能楽堂、歌舞伎劇場……等々、専門ホールが必要なわけだ。フルートのためには、フルートの魅力を最高に引き出してくれる「ザ・フルートコンサートホール」がほしいなー。

【会報の封筒詰めのお知らせ】

10月号の会報の封筒詰めを、10月2日(火)午後7時から長谷川楽器店3階ホールで行います。会員の皆さまには、是非、封筒詰めのお手伝いをお願いします。

